



ふれあいネットワーク

ゆい

# 社協だより

2023年  
4.27  
No.70



大分県立由布支援学校 着付けプロジェクト

## もくじ

令和5年度事業計画・収支予算 …	2～3	令和4年度歳末たすけあい募金 …	8～9
福祉のひろば ……………	4～5	包括だより・互近助コミュニティ……	10
地域コーナー……………	6	地域貢献事業コーナー ……………	11
寄付のお礼……………	7	お知らせ ……………	12



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

# 事業計画

## 由布市社会福祉協議会の理念

私たちは、市民と協働して地域共生社会を目指し、子どもから高齢者までの人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりを目指します。

### 経営方針

福祉関係者との連携を密にし、積極的に地域福祉を推進します。  
愛と思いやりをもって、質の高いサービスを提供します。  
市民の期待に応えられるよう提案型の事業経営を行います。

### 職員の 行動計画

市民から信頼される福祉の専門家を目指します。  
市民の立場に立って行動する職員を目指します。  
自らの職務に誇りと責任をもって前向きに取り組みます。  
社会情勢の変化に対応できるよう自己研鑽に努めます。  
ボランティア精神を養い社会貢献に努めます。

## 令和5年度 社会福祉法人由布市社会福祉協議会 重点項目

由布市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する由布市における中核機関として、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向け、自治委員、民生委員・児童委員、社会福祉法人、老人クラブ、身体障がい者団体、ボランティア団体等との連携・協力のもと、関係者がこれまでに築き上げてきたものをさらに発展させて行くために、地域共生社会の実現への取組みを推進します。

### 1 多様なニーズに対応した実践を進める

ニーズの変化に対応した、多様なサービスの展開を図り、住民が住み慣れた地域で個人の尊厳と意思が尊重され、適切な福祉支援を選択し利用できる環境を整備する。

### 2 福祉サービスの質と効率性の向上

社協職員及び関係者がともに専門性を高め、効率よく事業を展開できる体制づくりを進めるためのマネジメントの構築、多様な組織や関係者を繋ぐことによる課題解決に向けた支援が可能となる協働の場づくりの行動を起こす。

### 3 経営基盤を強化する

地域住民の理解をしっかりと得て、応援される存在となるために、事業活動の可視化を進め、会員の確保や共同募金活動の強化を含めた多角的な財源の確保に努める。

### 4 行政とのパートナーシップを強化する

解決に時間を要する地域福祉課題への取組みには、長期的・専門的な行政との協働が不可欠であることから、定期的な意見交換を実施する。

### 5 福祉を支える人材の確保・育成・定着を図る

民生委員・児童委員や福祉推進員の活動への理解を深めるため、その必要性と重要性を広く住民に周知し、活動への支援環境の整備を図る。  
地域と職場の将来像及び理念を社協役員職員全員で共有し、やりがいを持って働き続けられる職場づくりを推進する。

### 6 人事考課と人材育成

今後の社協運営を担う若手・中堅職員の育成は、喫緊の課題となっている。今年度は、令和4年度に施行した人事考課制度を本格的に運用し、個々の職員が、年次の目標だけでなく、将来のビジョンを明確に持てるようにする。

### 7 災害に備える

頻発する自然災害に対応するために、平常時からボランティアセンターを常設し、ボランティアの募集と登録・育成をしない各種団体とのネットワーク構築で体制の強化を図る。

# 令和5年度 事業計画・収支予算

## 令和5年度 社会福祉法人由布市社会福祉協議会 事業計画

### I 法人運営

1. 組織運営
2. コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化
3. 財政基盤

### II 地域福祉の推進

1. 「互近助コミュニティ」活動の推進
2. 地域コミュニティと支え合いネットワークづくり
3. 社会福祉協議会会員加入の推進
4. 地域福祉を推進する共同募金運動の展開
5. 「由布市福祉ボランティアセンター」の機能強化
6. 災害ボランティアセンターの常設
7. 地域福祉にかかわる団体との連携
8. 福祉推進員活動の推進事業
9. 親子ふれあい事業
10. 一人暮らしの集い事業
11. ふれあい郵便事業
12. 心配ごと相談事業
13. 福祉機器(車いす・介護ベッド)貸出事業
14. 福祉体験教室・福祉講座に関する事業
15. 社協だより、ホームページ・SNSによる  
様々な取り組みの紹介と情報発信
16. 第4期由布市地域福祉計画・  
地域福祉活動計画の実践

### III 相談支援事業

1. 生活困窮者自立相談支援事業
2. 福祉資金貸付事業
3. 相談支援事業(障がい者・児)
4. 中核機関に係る一次相談窓口業務(権利擁護事業)
5. 日常生活自立支援事業(あんしんサポート事業)

### IV 介護保険サービス事業

1. 居宅介護支援事業
2. デイサービス事業
3. 配食サービス事業

### V 地域包括支援センター

1. 総合相談支援業務及び権利擁護事業
2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務
3. 介護予防支援事業(ケアマネジメント)
4. 認知症初期集中支援推進事業
5. 認知症地域支援・ケア向上事業

## 令和5年度 社会福祉法人由布市社会福祉協議会 収支予算書

(単位：千円)

勘定科目	予算額
<b>【事業活動による収支】</b>	
会費収入	4,500
寄附金収入	4,110
経常経費補助金収入	68,753
受託金収入	129,623
貸付事業収入	253
事業収入	335
負担金収入	5,865
介護保険事業収入	92,140
障害福祉サービス等事業収入	3,500
受取利息配当金収入	34
その他の収入	978
事業活動収入計	310,091
人件費支出	246,138
事業費支出	42,831
事務費支出	16,513
貸付事業支出	250
共同募金配分金事業費	6,738
助成金支出	2,207
負担金支出	10
事業活動支出計	314,687
事業活動資金収支差額	△4,596

(単位：千円)

勘定科目	予算額
<b>【施設整備等による収支】</b>	
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	643
施設整備等資金収支差額	△643
<b>【その他の活動による収支】</b>	
その他の活動収入計	6,000
その他の活動支出計	270
その他の活動資金収支差額	5,730
予備費支出	2,000
当期資金収支差額	△1,509

# 福祉のひろば

## 令和4年度第2回 由布市災害ボランティアセンター運営研修会

2月22日、庄内公民館で由布市災害ボランティアセンター運営研修会を行い、市災害ボランティアネットワーク連絡会を中心に73名が出席しました。

由布市社協の担当から昨年9月の台風14号で、市災害ボランティアセンター設置から閉鎖までの活動内容を報告。湯平地区で復旧支援活動に参加された前民生委員の山出三男さんからは、当時の一連の作業内容について説明。「体力的にきついこともあったが、大学生と一緒に活動して元気が出た。今後のためにも日ごろから健康でいなければならぬ。」

同じく前民生委員の田中豊さんからは、「今回は体を動かす活動で疲れもあった。しかし作業後、被災されたご家族から涙ながらのあいさつで疲れもすべて吹っ飛び、清々しかった。感動しました。」とお話をいただきました。

その他、NPOリエラから災害ボランティアネットワークの重要性について、市の防災危機管理課からは、罹災証明にも役立つ被災家屋の写真の撮り方などを学びました。



## 福寿草の会（挾間町）

3月7日（火）はさま未来館にて、74歳以上のひとり暮らしの方を対象とした集いが開催されました。

大正琴・人権擁護講話・二胡演奏・舞踊・挾間幼稚園の園児の遊戯等、3年ぶりの開催に参加された方から「参加できてよかった。久しぶりに会えた人も気分転換になった」という声を頂きました。楽しい交流の場となったようです。

ご協力をいただいた民生児童委員の皆様にも感謝申し上げます。



# 福祉のひろば

【2月28日】由布支援学校高等部3年生のみなさん  
 【3月13日】西庄内小学校の4年生のみなさん



段差のある場所には苦戦している児童もいましたが、車いすに乗っている児童に気を付けながら段差をクリアしていました。操作の上手な児童が多く、講師の方々は将来福祉の仕事に就いてほしいな〜と話していました。

ポッチャでは、4年生全員が積極的に参加し、ボールを投げる児童に「こっちを狙った方がよい」「このボールを弾いた方がよいかも」と盛り上がりつつありました。1つのスポーツをきっかけに、いろいろな方と交流が進んでいってほしいです。



## 大分県介護福祉士会から講師を招き 福祉体験教室開催しました

由布支援学校で、高齢者疑似体験を行いました。年齢による身体的な変化(筋力、視力などの低下)を特殊な眼鏡、手足の重りなどを装着して、日常生活の動作を擬似的に体験しました。

高齢者の気持ちや、コミュニケーションの取り方を学び、生徒からは「体の動きが悪くなるのは大変。外で高齢者が困っていたら声掛けに気をつけて手伝いたい」と話していました。

西庄内小学校では車いす体験と障がい者スポーツ「ポッチャ」を行いました。

## 民生委員児童委員ブロック別研修会

令和5年1月25日、大分県教育会館多目的ホールにて白杵市、津久見市の民生委員児童委員の方達と合同で民生委員児童委員ブロック別研修会が開催されました。前日からの雪で交通障害があったため、急遽不参加になられた方もいらっしゃいましたが、出席された方はこの研修を今後の活動の参考にされていました。

## 令和4年度 職員研修

由布市社会福祉協議会では、職員の資質向上を目的に職員研修を開催しています。

今年度は「情報社会における人権について」、元警察官の井上杉夫氏にご講義いただきました。軽快な語り口で新聞やニュースで報道された内容などを例としてわかりやすく楽しくお話いただきました。

インターネット上では多様な意見や情報が飛び交い、それぞれの正義が主張されています。その意見を鵜呑みにせず、まずはその情報を自身で確認し、対応していくことが必要だと感じました。今後とも組織として、個人の言動に留意し、職場環境を整え、地域の皆様にはっきり向き合えるよう、職員一丸となって邁進していききたいと思います。

## 由布市老人クラブ連合会 室内軽スポーツ講習会

2月20日(月)に、ほのぼのプラザ市民交流室で由布市老人クラブ連合会の室内軽スポーツ講習会が3年ぶりに行われました。

由布市老人クラブ連合会の浦松辰信会長が講師として、「じゃんけんペタンコ」と「ポッチャ」の講習を行いました。短い時間でしたが、皆さん楽しく体を動かして過ごされました。





## 挟間 古野郷サロン 楽笑会

通常は公民館でサロン活動していますが今回は、サロン代表の佐野さんが運営している地域交流の場「パブリックハウス えてふえて」で由布川幼稚園の園児と交流しました。園児達から元気をもらい、子どもの頃に戻ったような気持ちになり終始笑顔になれた時間を過ごすことができました。

コロナ禍で行事の少なかったサロンを園児達が元気づけてくれました。



## 庄内 誰でも立ち寄れる・ ちょこっとサロン

2月13日、庄内地域支え合い推進会議で「誰でも立ち寄れる・ちょこっとサロン」おためし開催しました。

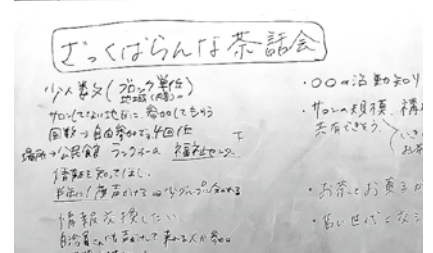
- サロンは楽しいけど、もっと人と交流したいな。
  - 他の地域の方とも知り合いたいな。
  - 1人で家にいるのは寂しいな。
- …そんなお声に応えるために、誰でも参加できるちょこっと寄れるサロンを開くことになりました。

今回は16名の皆さんと交流しました。アンケートには「ぜひ今後もこのような会を開いてほしいです!」と皆さん書かれていました。今後の開催について、しっかり話し合っていきます!!



## 湯布院地域支え合い 推進会議(協議体)の 新たな取り組み

湯布院の協議体では、集いの場の代表者が集まり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりについて協議し、取り組んでいます。令和4年度より、なかなか話すことの出来ない運営上の悩みや他のサロンの様子など、お茶を飲みながら「ざっくばらんに話せる会」を開くことになりました。サロン同士で気軽に支え合えるように、交流を深めていきます。



## 認知症地域で見守り声かけ訓練

日時/令和5年2月17日(金)10:00~11:30  
場所/由布川地域交流センター

認知症が原因で行方不明届を出す方が増えています。徘徊する認知症の方を家族だけで見守るのは難しく、命に関わる危険もあるため、速やかに発見・保護される体制作りを目的に開催しました。今後も認知症への理解を深め、認知症になっても安心して暮らし続けることの出来る地域を目指していきたいと思えます。



古野・古野郷地区の住民と認知症地域支援推進員、由布市役所高齢者支援課、包括職員、オレンジの会会員で行いました。ご協力ありがとうございました。

## 由布支援学校 着付けプロジェクト

由布支援学校の先生から「高等部3年生の思い出作りとして、卒業記念とひと足早い成人式のお祝いで着物を着せてあげたいんです」とご相談を受けました。

地域ネットワークを活用し、着付け教室 美粧会(藤川和子代表)の皆さん、メイク&ヘアメイクにデイサービスセンターあすかの伊藤さん・後藤さん、写真撮影にスタジオさたけさんのご協力をいただくことができました。

メイクやヘアメイクに緊張しながら、いざ着付けが始まると皆さん凛とした顔つきに。体験した生徒からは「社会に出る前に貴重な経験ができた」「皆さんのように、自分も地域の方に協力していきたい」と話してくれました。

後日、着付け教室の会員さんからも「80歳を過ぎて人の為に役に立てる事が出来て嬉しかったです」と嬉しいお言葉をいただきました。ご協力ありがとうございました。



# 寄付のお礼

市民の皆様のおかげで、ご芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。

ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。

お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。

皆様方のご理解のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月1日～令和5年3月31日までの受付分を記載しています。

## 香典返し (敬称略)

### 挾間

河野 仁彦	中 恵	金 一 封
安東 淳二	北 方	三〇、〇〇〇円
長野 仁史	同 尻	金 一 封
安部 憲生	来鉢東部	金 一 封
森 幸夫	南田代	二〇、〇〇〇円
後藤 康雄	古 野	三〇、〇〇〇円
竹中 秀寿	北 方	金 一 封
山本 俊彦	朴 木 上	金 一 封
土谷 洋子	朴 木 上	三〇、〇〇〇円
那須 啓子	小 野	金 一 封
三河尻健治	鶴 田	一〇〇、〇〇〇円
東 智美	上 市	金 一 封
松尾 孝昭	サマリア野	金 一 封
清水 尚哉	上 市	金 一 封
山本 幸一	赤 野	金 一 封
園田 進	鶴 田	三〇、〇〇〇円



### 庄内

挾間 俊典	龍 原	二〇、〇〇〇円
齊藤 政智	大 龍	金 一 封
鷲尾 一廣	龍 原	五〇、〇〇〇円
篠田 安則	野 畑	金 一 封
池永 慶子	大 龍	金 一 封
日野 国春	櫛 木	金 一 封
工藤 治雄	大 龍	金 一 封
工藤 啓二	阿 蘇 野	金 一 封
山下 等	平 石	金 一 封
大嶋 美鈴	中 福	三〇、〇〇〇円
三重野辰雄	五 福	金 一 封

### 湯布院

日野 啓介	川 南	金 一 封
一野 厚子	川 上	一〇〇、〇〇〇円
大久保忠雄	川 北	三〇、〇〇〇円
佐藤 信博	川 西	金 一 封

## 一般寄付 (敬称略)

### 挾間

首藤満知子 金 一 封

### 庄内

由布ライオンズクラブ 五〇、〇〇〇円  
庄内中学校 生徒会 車椅子2台



## 社会福祉協議会 ご寄付された方々 へのお知らせ

これまで個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、所得控除制度が適用されてきました。平成23年税制改正による新たな税額控除制度は、寄附金のうち2,000円を超える部分の40%を所得税から控除できることになりました。(個人が、一定の要件を満たした社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、当該寄附金について、税額控除制度の適用を受けることができます。)

### 税制改正前の寄附金控除制度

● 所得控除  
(所得金額 - 所得控除額) × 税率 = 税額

### 税制改正後の寄附金控除制度

● 税額控除  
税額 - 税額控除額 = 納税額

★ 税額控除額の算出式 個人が支出した寄附金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式より算出された額が、所得税額から控除されます。

$$\{ \text{税額控除対象寄附金}(\times 1) - 2,000\text{円} \} \times 40\% = \text{控除対象額}(\times 2)$$

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

※1 税額控除対象法人への寄附金額  
寄附金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金となります。

この額が所得税額から控除されます。

詳細につきましては、  
最寄りの税務署及び  
市の税務課にお尋ね下さい。

# 令和4年度「歳末たすけあい募金運動」にご協力ありがとうございました



昨年12月に実施いたしました「歳末たすけあい募金」は、由布市共同募金委員会審査委員会での審査後、次ページのように配分いたしました。

ご報告いたしますとともに、ご協力いただきました皆様へ厚く御礼申し上げます。

挟 間							
高 崎	15,000円	海 老 毛	7,200円	向 原	48,300円	谷 東 部	16,700円
山 口	3,000円	丸 田	13,200円	中 村	18,000円	山 田	5,100円
七 蔵 司	7,500円	東 行	3,900円	柏 野	30,000円	東 ノ 山	6,300円
中 台	3,000円	朴 木 下	11,300円	鬼 瀬	10,200円	中 恵	10,200円
来 鉢 東 部	14,600円	朴 木 上	10,500円	池 ノ 上	7,800円	酒 野	11,700円
来 鉢 中 部	16,800円	医 大 二	0円	茅 場	2,700円	上 筒 口	9,500円
来 鉢 西 部	7,200円	医 大 三	40,000円	時 松	6,200円	下 筒 口	9,000円
北 田 代	4,800円	サントピア古野	73,000円	喜 多 里	24,600円	田 ノ 小 野	14,700円
南 田 代	10,800円	下 市	85,000円	サニータウン挟間	20,700円	同 尻	31,800円
詰	10,800円	北 方	51,000円	雇用促進住宅	0円	生 田 原	7,800円
三 船	15,000円	宮 田	9,300円	谷 中 村	9,600円	戸 別 募 金	1,150,100円
古 野	145,600円	上 市	98,400円	小 野	5,400円	街 頭 募 金	0円
古 野 郷	20,400円	鶴 田	68,900円	阿 鉢	9,300円	窓口に寄せられた募金	1,022,372円
赤 野	68,100円	鬼 崎	4,300円	篠 原	15,900円	合 計	2,172,472円
庄 内							
畑 田	29,000円	中 武 宮	3,300円	原 中	1,500円	高 津 透 内	10,800円
みどり住宅	13,500円	上 武 宮	8,100円	井 出 下	5,700円	久 保	22,800円
猪野竹の下	7,500円	蓑 草	14,100円	上 重	4,800円	瀬 口	7,200円
長 野	18,900円	柿 原 一 区	24,300円	直 野 内 山	8,500円	中 尾	6,000円
葛 原	3,000円	柿 原 二 区	27,300円	大龍東部一区	36,900円	宗 寿 寺	3,000円
佐 平 治	6,600円	野 畑 三 区	10,800円	大龍東部二区	24,000円	竹 の 中	8,700円
橋 爪	13,500円	野 畑 四 区	9,900円	大 龍 西 部	18,600円	影 戸	5,100円
甲 斐 田	8,100円	測 五 区	19,800円	五 ケ 瀬	27,900円	柚 の 木	8,500円
宇 南 水 足	11,400円	測 六 区	17,400円	龍 原	20,700円	小 挟 間	7,800円
小 松 台	2,100円	測 七 区	7,800円	ドリームタウン五ヶ瀬	11,100円		
深 谷	7,800円	日 ケ 暮	2,400円	櫟 木	15,500円		
雲 取	12,900円	永 十	3,600円	五 福	21,000円	戸 別 募 金	690,900円
小 原	25,200円	伊 小 野	3,000円	蛇 口	15,900円	街 頭 募 金	0円
東 家	22,800円	高 津 原	5,100円	長 宝 団 地	16,800円	窓口に寄せられた募金	277,756円
平 石	12,000円	栢 の 木	4,800円	な ご み の 里	5,400円	募 金 箱	1,392円
下 武 宮	5,700円	中 村	3,600円	小 野 屋	11,400円	合 計	970,048円
湯 布 院							
塚 原	19,500円	新 町 1	28,200円	中 依	8,300円	湯 平 2	7,700円
津 江	29,100円	新 町 2	20,100円	下 依	10,600円	湯 平 3	7,200円
岳 本	26,600円	荒 木	23,400円	前 徳 野	6,600円	畑	12,000円
湯 の 坪	36,000円	石 武	29,300円	内 徳 野	4,000円	小 平	6,300円
中 島	12,600円	光 永	8,200円	槐 木	1,500円	幸 野	18,600円
佐 土 原	8,400円	東 石 松 1	9,300円	畑 倉	3,300円	水 地	5,000円
並 柳	14,100円	東 石 松 2	21,900円	奥 江	3,600円		
若 杉	0円	東 石 松 3	19,200円	上 津 々 良	8,100円	戸 別 募 金	570,400円
乙 丸 1	19,700円	西 石 松	15,700円	下 津 々 良	8,400円	窓口に寄せられた募金	77,935円
乙 丸 2	31,200円	山 崎	19,800円	鮎 川	9,600円	募 金 箱	0円
乙 丸 3	53,400円	平	3,900円	湯 平 1	0円	合 計	648,335円

※挟間上市の98,400円のうち9,600円分と  
湯布院乙丸2の31,200円のうち17,100円は  
令和3年度募金2月以降にお持ちいただいた募金です。

令和4年度合計(挟間・庄内・湯布院)	3,790,855円
令和3年度繰越	473,457円
合 計	4,264,312円



# 歳末たすけあい募金運動で

窓口に募金を寄せてくださった団体・個人 (敬称略)

## 庄内

由布市立東庄内小学校	山家学園
由布市立西庄内小学校	久保更生園
由布市立庄内中学校	庄内厚生館グループホーム
大分県立由布高等学校	希望の家
庄内駅前郵便局	デイサービスセンター長宝
寿楽苑	庄内厚生館給食管理室
慶寿苑	障がい者相談支援センターこうせいかん
小松寮	有料老人ホーム ゆふ
寿永会本部	介護保険サービスセンターゆふネット
西庄内保育所	庄内厚生館法人本部
由布市役所	庄内厚生館法人事務局
由布市商工会	由布保健部
向陽学園	庄内手話クラブ
情和園	庄内町民生児童委員協議会
ひばりこども園	庄内町グラウンド・ゴルフ協会
木埋学園	社協理事・監事
あなみ保育園	由布市社会福祉協議会庄内事務所
緑の家	

## 挾間

岡幸正
川野真二
由布市食生活改善推進協議会挾間支部
由布市役所挾間庁舎職員
挾間公民館
由布市消防本部
挾間町民生児童委員協議会有志
由布市社会福祉協議会挾間事務所

## 湯布院

湯布院町更生保護女性会
湯布院ガイドあさざり会
湯布院町文化芸能振興会
お茶の間サロン ハッピー
社会福祉法人 聖愛会 聖愛こども園
由布市社会福祉協議会湯布院事務所



## 募金の配布先

配布対象区分	全 体	
	数	金額
75歳以上の独居高齢者	898	1,796,000円
在宅寝たきり者	18	36,000円
母子・父子世帯	136	272,000円
被災世帯	25	125,000円
まごころ弁当	833	587,265円
諸経費		8,415円
次年度へ繰越		1,439,632円
合計	1,910	4,264,312円



岡 幸正 様



まごころ弁当配布



～じぶんの町を良くするしくみ～

## 赤い羽根共同募金

令和5年度

赤い羽根共同募金の  
助成事業を公募します。



応募の対象

福祉活動を自己資金のみで行うことが難しい自治会や由布市内に所在する団体など

例えば

- 世代間交流(昔あそび、おやつの伝承など)を行い、高齢者に教えてもらう
- 地域で防災訓練を行う
- 防災パトロール、児童の登下校の見守りの資材購入

募集期間

令和5年4月28日(金)～  
令和5年5月26日(金)

助成金額

5万円以内

助成決定

審査委員会で助成の可否  
を決定いたします。

問合せ先

由布市共同募金委員会事務局  
(由布市社会福祉協議会内)

担当：曾根崎

こんにちは!  
地域包括支援センターです!



ほうかつ  
ほろり

地域包括支援センターとは?

市町村や介護・医療・福祉の関係機関などと協力して、地域の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるように支える機関です。

介護保険法に位置づけられており、設置主体は市町村で、由布市では社会福祉協議会が委託を受けて運営しています。主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士等が在籍し、それぞれの専門性を活かしながら連携・協働し、“チームアプローチ体制”で対応しています。

また、認知症初期集中支援や認知症地域支援等の業務にも取り組んでいます。

“困ったなあ…”を一緒に考えます



- 介護保険を利用したい
- どんなサービスがあるの?

- お金の管理や契約が不安になってきた

- 物忘れが多くなってきて不安
- 最近近所の人の様子が気になる



由布ささえるんジャー



由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4  
(由布市ほのぼの工芸館)

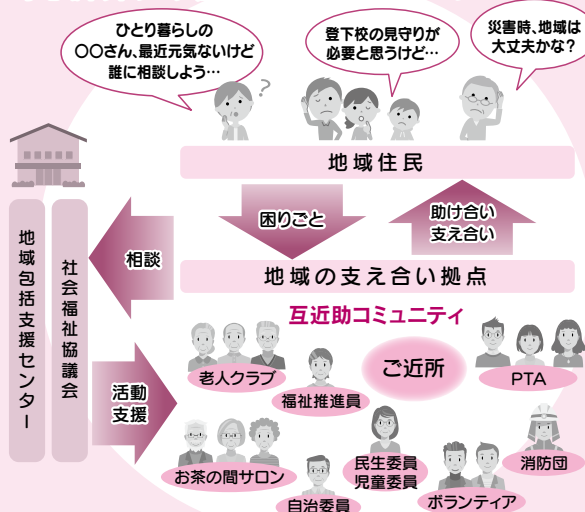
TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

開所時間 月～金曜日(祝日を除く)8:30～17:00

令和5年度

互近助コミュニティの申請書の提出をお願いします

小地域ネットワーク(互近助コミュニティ)のイメージ



由布市社会福祉協議会は、自治区における地域福祉活動の推進として、前年度ご協力いただいた自治区の社協会費6割相当額を助成しています。

対象となる地域福祉活動は、子どもや高齢者の見守り、多世代・地域交流のイベントや場所づくり、地域防災活動・訓練・清掃などの助け合い活動等になります。

申請書類は各自治委員様宛にお送りしています。申請書の提出をよろしくお願いいたします。

提出先：由布市社会福祉協議会 各事務所  
申請期限：5月31日(水)  
お問合せ：097-582-2756 (担当/曾根崎)

湯布院

# はらぺこ食堂

子ども食堂

1周年記念インタビュー



「はらぺこ食堂」の主催者の渡辺美佳さんにお話を伺いました。

Q. いつから子ども食堂をはじめましたか。

写真右奥：渡辺美佳さん  
 昨年の5月14日から子ども食堂をはじめました。

Q. 子ども食堂を始めるきっかけは？

転勤で湯布院にきました。その時に皆さんが優しく良くしてくれて、長く暮らしたいと思いました。「湯布院に恩返ししたい」という気持ちで始めました。

以前から、地域の方とご飯を食べる「交流の場」があったのですが、コロナ禍で人と会う機会も減り、自分自身が寂しさを感じたこともきっかけになったと思います。

Q. ボランティアの方はどんな方ですか。また何人でされていますか。

40代〜80代までの7、8人で活動しています。旅館の女将さんやロータリークラブなど、いろんな方の協力で活動ができています。

Q. 子ども食堂を利用する人はどういった人ですか？

地域の子どもたち、高齢者、近所の方です。



Q. 子ども食堂をする上で大変だったことはありますか？

場所の確保です。乙丸公民館を使用するうえで、保健所の許可を受けることが難しく、どうしたらいいのか悩みました。ロータリークラブの助けもあり継続できようになりました。

Q. 会場に乙丸公民館を選んだ理由はなぜですか？

乙丸公民館は町の中心にあり小学校にも近いので、子ども食堂は公民館で！と決めていました。

Q. 今後の活動や「はらぺこ食堂」をどのようにしていきたいですか？

子どもたちに食事のマナー教室などしたいです。食べることに関連付けてマナーや学びになることをやってみたいです。また、子ども食堂で初めて「きくらげ」を食べたお子さんもいたので、使う食材にも意識をしながら提供していきたいです。

## ゆふ支え愛子ども食堂からのお知らせ



2月19日(日)に庄内公民館及び、2月26日(日)に由布川地域交流センターで「ゆふ支え愛子ども食堂」を開催しました。合わせて95名の方の申込みがあり、調理ボランティアさんの協力で用意できました。まだまだお弁当を配布するだけですが、地域の子ども達と少しふれあいができたかなと思っています。今後も開催日時はチラシでお知らせします。

ゆふ支え愛  
子ども食堂への寄付

匿名 現金 5,000円  
匿名 現金 13,000円

匿名 食品



## 子どものふるさと愛着事業

## 大分県立由布高校 郷土芸能部訪問

2月28日(火)、由布市社会福祉法人施設経営者協議会では、今年も大分県立由布高校郷土芸能部に今後さらなる活躍を祈念して寄付をさせていただきました。現在部員は男子7名、女子7名在籍されており、女子のみの神楽舞も披露されているそうです。

校長先生曰く、「女性の舞はたおやかで優美」であるそうです。時代の変化がここでも感じられました。





## 令和5年度 新入職員紹介



**秋吉 貴恵**

総務課  
挟間事務所



**井尾 恵理**

介護保険  
サービス事業課  
居宅介護支援



**梅野 絵里子**

包括支援  
センター



**金島 眞利江**

相談支援課



**加藤 敬三**

地域支援課  
庄内事務所



**笹木 帆乃佳**

介護保険  
サービス事業課  
配食サービス



**森 文子**

包括支援  
センター



**佐藤 ひとみ**

介護保険  
サービス事業課  
通所介護

## 親子ふれあいツアー

**日時** 8月6日(日)

**行き先** 城島高原パーク



**対象者** 母子・父子世帯の親子(高校生まで)

**参加費** 無料

**申込先** 各社協事務所及び  
地区の民生委員児童委員

**問合せ先** 地域支援課 TEL:097-582-2756

## 令和5年度 社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の福祉事業は、皆様方よりお寄せいただいた会費、寄付金などを財源として行われております。

誰もが安心して暮らせる地域であるように、本年度も社会福祉協議会の事業をご理解いただき、ぜひ会員としてご加入いただきますようお願い申し上げます。



■ 一般会員 1口 500円以上/年

■ 特別会員 1口 3,000円以上/年  
(個人・法人)

問合せ先：地域支援課 (担当 曾根崎)



全日本ロータスクラブ同友会  
九州陸運局指定民間車検工場  
ケータラム・スーパーセブン正規ディーラー

### 有限会社 麻生自動車整備工場

〒879-5102  
大分県由布市湯布院町川上3032-1  
TEL.0977-84-3363 FAX.84-5526



文具 事務用品 オフィス家具  
エアドッグ大分県総代理店

世界最強レベルの  
空気清浄機



## スガタ

(株) 菅田新光堂湯布院支店

由布市湯布院町川上3075-1  
TEL 0977-84-5594 FAX 0977-84-5662

発行 社会福祉法人 **由布市社会福祉協議会**

**本所** 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1  
**庄内事務所** TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878

**挟間事務所** 〒879-5502 由布市挟間町向原128番地1  
由布市役所挟間庁舎3階  
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

**湯布院事務所** 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地  
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

由布市社協 **公式Instagram** はじめました



@YUFUSHI.SHAKYO

市社協、地域団体、サロンの活動や、災害ボランティアセンターの取り組み等、写真を通して分かりやすくお届けしています。携帯電話で、QRコードを読み取ってください。ぜひフォローをお願いします!